

アラウンド GOGO 55



大会まで走り続けるぞ〜

近藤 直子

私もコマと一緒にで止まったら倒れるてなもんで走り続けています。

そうこうしているうちに、

55歳以降は第2の人生？
私の人生は障害者問題に関わるようになった20代以降ずっと走り続けていて、それはきつと死ぬまで続くのでは？
と思つています。

特に走り方が早まったのは、子どもが幼いときではなく40代から。43歳から45歳の間に1万人規模の保育合研と5500名の全障研大会を主催。そして、アルツハイマーによる認知症の父を、1995年より亡くなるまでの10年間毎

月滋賀まで訪問し、ケアハウスから老人保健施設、そして特別養護老人ホームへとなるべくスムーズに移行させるために、福祉事務所をはじめ色々な所に出かけたり手続きしたりしてきました。

間にはイヤな思いもさせられましたが、いつも夫と息子が助けてくれたので、99年から6年間の学生部長業務をはじめ大学の仕事を滞り無く果たせました。

そしてホッと一息ついたの

も束の間、今度は夫が尿管ガ
ンになり、この3年間は夫の闘病生活に付き合っています。
2006年に手術を2回、2007年は肺への転移が見つかり化学治療のために延べ半年にわたる入院、今年は新たな肺ガンが見つかり休職中。そんな中でも新学部の立ち上げ準備も、「障害者自立支援法」に対する取り組みも、そして教職員組合委員長を3期連続してと、ただひたすら走っています。坂本龍馬は「前のめりて死にたい」と言つたとか。

このパワー引き継いでくれる人を捜しています。「そんなおらんで」というのが夫の弁ですが、そうかなあ???

(愛知支部長・日本福祉大学)

*「アラウンド55(ゴーゴー)」は50代をむかえた会員による介護や健康、人生設計などをテーマにした8000字のエッセイコーナーです。